

日本プライマリ・ケア連合学会

家庭医療専門医・新家庭医療専門医認定のための筆記試験の概要について

本筆記試験による評価の目的は、プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療プログラム修了者の、診断やマネジメントを中心とする臨床的知識を総括評価することにあります。

筆記試験の形式としては、多肢選択式問題 (Multiple choice questions; MCQ) を用います。評価する領域は、①公衆衛生・EBM、②コミュニケーション、③日常病、④女性／男性医療・周産期医療、⑤小児・思春期医療、⑥高齢者医療、⑦メンタルヘルス、⑧急性疾患・救急医療、⑨整形外科的問題、⑩緩和医療、⑪日本の医療・介護・福祉制度、⑫家庭医療の原則 の12領域です。各領域で評価される知識の内容（疾患、症候、マネジメント、理論など）は以下をご参照ください。

出題数 100 問、試験時間 2 時間の試験を 2 日間実施（合計 200 問 4 時間） を予定しております。

■ 領域別出題内容（以下の内容等から出題する予定です）

① 公衆衛生・EBM

各種ワクチンプラクティス、各種スクリーニング、がん検診、健康診断、学校医活動、産業医活動、施設入居者ケア、コミュニティケア、質改善、健康の社会的決定要因、EBMの5ステップ、PICO、感度・特異度、尤度比、オッズ、相対リスク減少、絶対リスク減少、治療必要数、ランダム化比較試験、コホート研究、症例対照研究、システマティックレビュー、治療意図に基づく解析（ITT解析；intention to treat analysis）、GRADEシステム

② コミュニケーション

患者中心の医療、Bio-Psycho-Social model、家族志向ケア、患者教育、Bad News Telling、Advance Care Planning、コンサルテーション、医療安全、多職種協働、医師患者関係、Difficult Patient encounter

③ 日常病

【疾患】

本態性高血圧症、二次性高血圧症、慢性心不全、狭心症、心筋梗塞、心筋症、弁膜症、慢性心房細動、大動脈瘤、下肢静脈瘤、末梢動脈疾患、深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、リンパ浮腫、上気道炎、気管支炎、肺炎、胸膜炎、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、気管支拡張症、間質性肺疾患、慢性呼吸不全、睡眠時無呼吸症候群、逆流性食道炎、食道静脈瘤、消化性潰瘍、過敏性腸症候群、癒着性イレウス、ウイルス性肝炎、肝硬変、アルコール性肝障害、脂肪肝、薬剤性肝障害、胆石症、慢性膵炎、鼠径ヘルニア、痔核、痔瘻、慢性腎不全、糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症、過活動性膀胱、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、糖尿病、高尿酸血症、脂質異常症、関節リウマチ、SLE、リウマチ性多発筋痛症、貧血、白血病、悪性リンパ腫、紫斑病、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、パーキンソン病、パーキンソン症候群、偏頭痛、緊張性頭痛、群発頭痛、糖尿病性神経障害、肺がん、胃がん、大腸がん、肝臓がん、胆嚢がん、胆管がん、膵臓がん、膵嚢胞性腫瘍、皮脂欠乏性皮膚炎、接触性皮膚炎、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、尋常性ざ瘡、皮膚白癬症、伝染性軟属腫、疥癬、伝染性膿痂疹、感染性粉瘤、褥瘡、結膜炎、麦粒腫、白内障、緑内障、糖尿病性網膜症、アレルギー性鼻炎、慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎、良性発作性頭位めまい

【症候】

頭痛、耳痛、視力障害、聴力障害、耳内異物、鼻出血、言語障害、咳、痰、鼻漏、鼻閉、咽頭痛、嚥下困難、リンパ節腫脹、体重増加、体重減少、全身倦怠感、めまい、便秘、下痢、食欲減少、胸痛、動悸、嘔気嘔吐、呼吸困難、腹痛、便通異常、胸やけ、背部痛、腰痛、歩行障害、四肢麻痺、しびれ、月経異常、関節痛、浮腫、排尿障害、尿失禁、頻尿、尿潜血、尿蛋白、便潜血

④ 女性/男性の医療・周産期医療

正常妊娠、妊婦健診、正常分娩、流産、早産、産科出血、産褥、妊婦・授乳婦への投薬、乳腺炎、女性健診、避妊、月経異常、不正性器出血、更年期障害、骨盤内感染症、骨盤内腫瘍、乳腺腫瘍、前立腺肥大症、勃起障害、性的少数者

⑤ 小児・思春期医療

【疾患・症候】

腸重積症、熱性けいれん、無熱性けいれん、気管支喘息発作、アナフィラキシー、頭部打撲、異物誤飲、鉄欠乏性貧血、肥満、糖尿病、脂質異常症、心身症、起立性調節障害、過敏性腸症候群、RSウイルス感染症（細気管支炎）、ロタウイルス感染症（胃腸炎）、イ

インフルエンザウイルス感染症（気管支炎・肺炎、脳症）、アデノウイルス感染症（結膜炎、咽頭扁桃炎、肺炎、胃腸炎、膀胱炎）、エンテロウイルス感染症（胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ）、ヘルペスウイルス感染症（歯肉口内炎、カポジ水痘様発疹症）、水痘帯状疱疹ウイルス感染症（水疱瘡）、ヒトヘルペスウイルス感染症（突発性発疹）、EB/サイトメガロウイルス感染症（伝染性単核症）、ムンプスウイルス感染症（流行性耳下腺炎）、パルボウイルス感染症（伝染性紅斑）、大腸菌・腸球菌感染症（尿路感染症、膀胱尿管逆流）、インフルエンザ桿菌・肺炎球菌感染症（髄膜炎、喉頭蓋炎、中耳炎、副鼻腔炎、肺炎）、溶連菌感染症（咽頭扁桃炎、膿痂疹）、ブドウ球菌感染症（膿痂疹）、マイコプラズマ感染症、クラミジア感染症、乳児湿疹、乳児喘息、便秘症、気管支喘息、アレルギー性鼻炎・結膜炎、アトピー性皮膚炎、川崎病、広範性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害 近視、難聴、齲歯、骨端症、側彎症、腰椎分離症

【マネジメント・その他】

各種ワクチンプラクティス、乳幼児健診、育児支援、学校保健、性に関する問題、社会とのつながりに関する問題、不登校、いじめ、虐待マネジメント、事故予防、キャリーオーバー患者

⑥ 高齢者医療

【疾患】

肺炎、尿路感染症、皮膚感染症、胆道感染症、脳梗塞、脳出血、脳血管障害後遺症、症候性てんかん、心筋梗塞、慢性心不全、高血圧、糖尿病、認知症、骨粗鬆症、変形性関節症、骨折、悪性腫瘍

【症候・その他】

排尿障害、尿失禁、食欲不振、嚥下障害・誤嚥、体重減少、転倒、せん妄、廃用症候群、低栄養、ポリファーマシー、認知機能低下、Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia (BPSD)、生活の破綻、閉じこもり、脱水、褥瘡、老衰、抑うつ、マルチモビディティ、高齢者総合評価、介護保険、主治医意見書、成年後見制度、ケアカンファレンス、家族カンファレンス、終末期ケア、専門医との連携、多職種協働、各種予防的介入、虐待マネジメント、施設入居者ケア、訪問診療導入、在宅看取り、入院のメリット・デメリット、退院支援、Advance Care Planning

⑦ メンタルヘルス

【疾患・症候】

気分障害（うつ病など）、双極性障害、不眠、適応障害、不安障害（全般性不安障害、社会不安障害、パニック障害、強迫障害、PTSD など）、身体表現性障害、摂食障害、アルコールや薬物など物質関連障害、広範性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、統合失調症、人格障害

【その他】

ストレスマネジメント、虐待マネジメント、労働問題、社会的格差、社会的排除

⑧ 急性疾患・救急医療

頭部外傷、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、症候性てんかん、失神、慢性硬膜下血腫、脳炎、髄膜炎、緑内障、めまい、偏頭痛、鼻出血、大動脈解離、肺塞栓症、腹部大動脈瘤破裂、自然気胸、狭心症、心筋梗塞、急性心不全、肺炎、COPD 急性増悪、喘息発作、発作性上室頻拍、心房細動、高度房室ブロック、誤嚥性肺炎、RS ウイルス細気管支炎、過換気症候群、腹膜炎、虫垂炎、憩室炎、胆石発作、胆嚢炎、胆管炎、急性脾炎、消化管穿孔、腸閉塞、消化管出血（上部・下部）、上腸間膜動脈塞栓症、肝性脳症、糖尿病性ケトアシドーシス、高血糖高浸透圧症候群、低血糖、甲状腺クリーゼ、副腎クリーゼ、急性腎不全、高カリウム血症、高カルシウム血症、低ナトリウム血症、好中球減少性発熱、重度貧血、高血圧症、薬疹、蜂窩織炎、带状疱疹、熱傷、急性中耳炎、急性副鼻腔炎、扁桃周囲膿瘍、急性喉頭蓋炎、インフルエンザ、子宮外妊娠、卵巣嚢腫茎捻転尿閉、尿管結石、腎盂腎炎、膀胱炎、肉眼的血尿、敗血症、ショック、薬物過量服薬、急性アルコール中毒、熱中症

⑨ 整形外科的問題

頸椎症、腰痛症、椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、変形性関節症、骨粗鬆症、大腿骨頸部骨折、脊椎圧迫骨折、橈骨遠位端骨折、捻挫、肘内障、腱板炎、手根管症候群、痛風、偽痛風

⑩ 緩和医療

各種症状への対応（がん性疼痛、非がん性疼痛、食欲不振、嘔気嘔吐、便秘、下痢、消化管閉塞、腹部膨満感、腹痛、吃逆、嚥下困難、黄疸、咳、痰、呼吸困難、死前喘鳴、胸痛、褥瘡、皮膚掻痒症、適応障害、不安、怒り、恐怖、抑うつ、不眠、せん妄、胸水、腹水、心嚢水、高カルシウム血症）、各種オピオイドの使用法、予後予測、スピリチュアルケア、グリーフケア

⑪ 日本の医療・介護・福祉制度

医療保険制度、高額療養費制度、特定疾患医療費助成制度、身体障害者福祉制度、精神保健医療福祉制度、生活保護制度、介護保険制度、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション、介護施設

⑫ 家庭医療の原則

包括的統合アプローチ、患者中心の医療・ケア、連携重視のマネジメント、地域包括ケアを含む地域志向アプローチ、公益に資する職業規範、多様な診療の場に対応する能力